

令和4年度 上尾市立上平中学校 学校評価

1 実施時期

- (1) 自己評価 令和4年 1月10日
 (2) 学校関係者評価 令和5年 2月15日

2 実施内容

①自己評価の内容（段階評定法で4・3・2・1から選択）

1	全般	上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している。
2	学ぶ 価値	上平中学校の授業で先生は、日々の授業をわかりやすく教えている。
3		生徒達は、自ら考え主体的に授業に取り組んでいる。
4		上平中学校では、ICT機器（クロームブック等）を使った授業が充実している。
5		生徒達は、人の意見をしっかりと聞くことができる。
6		生徒達は、自分の考えをしっかりと人に伝えることができる。
7	思い やり	生徒達は、他者を大切にするとともに、困っている人がいたら助けることができる。
8		生徒達は、仲間と協力して活動することができる。
9	健康 安全	生徒達は、交通ルールやマナーを守っている。
10		生徒達は、健康保持・増進に努めている。（感染症予防も含む）
11		生徒達は、規則正しい生活を送っている。
12	主体 性	生徒達は、学校内外のボランティアや地域の活動に参加している。
13		生徒達は、将来の夢や目標を持っている。
14		生徒達は、学級活動（係）や生徒会活動（委員会・生徒会）、部活動で自分の力を発揮している。
15	生活	生徒達は、学校生活のルールやマナーを守って生活をしている。
16		生徒達は、自ら進んで気持ちの良い挨拶をしている。
17		生徒達は、時と場に応じた丁寧な言葉遣いができる。
18	生徒 指導 ・ 教育 相談	生徒達は、インターネット機器（スマートフォン、PC等）の使い方についてルールやマナーを守っている。
19		生徒達は、困ったことや悩んでいることがあった時、先生に相談している。
20		上平中学校では、いじめを絶対にゆるさないために、未然防止や迅速な対応をしている。

②参考として生徒アンケート、保護者アンケートも同内容で実施

③学校関係者評価委員会の開催

自己評価結果（生徒アンケート、保護者アンケートを参考）を学校関係者評価委員会で説明し、課題や成果について様々な角度から御意見や御感想をいただいた。

3 公表方法 学校だより及び学校ホームページにて公表

4 成果

(1) 自己評価の結果

		項目	平均値
1	全般	上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している。	3.38
2	学ぶ 価値	上平中学校の授業で先生は、日々の授業をわかりやすく教えている。	2.96
3		生徒達は、自ら考え主体的に授業に取り組んでいる。	3.04
4		上平中学校では、ICT機器（クロームブック等）を使った授業が充実している。	2.58
5		生徒達は、人の意見をしっかりと聞くことができる。	3.38
6		生徒達は、自分の考えをしっかりと人に伝えることができる。	2.75
7		思いやり	生徒達は、他者を大切にするとともに、困っている人がいたら助けることができる。
8	健康 安全	生徒達は、仲間と協力して活動することができる。	3.42
9		生徒達は、交通ルールやマナーを守っている。	2.67
10	健康 安全	生徒達は、健康保持・増進に努めている。（感染症予防も含む）	2.71
11		生徒達は、規則正しい生活を送っている。	3.00
12	主体 性	生徒達は、学校内外のボランティアや地域の活動に参加している。	2.29
13		生徒達は、将来の夢や目標を持っている。	2.63
14		生徒達は、学級活動（係）や生徒会活動（委員会・生徒会）、部活動で自分の力を発揮している。	2.96
15	生活	生徒達は、学校生活のルールやマナーを守って生活をしている。	3.17
16		生徒達は、自ら進んで気持ちの良い挨拶をしている。	2.46
17		生徒達は、時と場に応じた丁寧な言葉遣いができる。	3.13
18	生徒指導	生徒達は、インターネット機器（スマートフォン、PC等）の使い方についてルールやマナーを守っている。	2.42
19	教育 相談	生徒達は、困ったことや悩んでいることがあった時、先生に相談している。	2.63
20		上平中学校では、いじめを絶対にゆるさないために、未然防止や迅速な対応をしている。	3.13

- ・「自己評価」の結果から、本校の教職員は、自校の教育をおおむね肯定的に捉え、特に平均値が高かった項目は、「上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している」「生徒達は、人の意見をしっかりと聞くことができる」「生徒達は、仲間と協力して活動することができる」である。

5 今後の課題と改善策

<課題>

平均値が低かった項目は、「生徒達は、学校内外のボランティアや地域の活動に参加している」「生徒達は、自ら進んで気持ちの良い挨拶をしている」「生徒達は、インターネット機器（スマートフォン、PC等）の使い方についてルールやマナーを守っている」である。

<改善策>

- ・ボランティア活動の案内の仕方や、参加時間の確保が必要である。
- ・教員が明るく気持ちの良い挨拶を常日頃から行い、生徒会等を中心とする生徒の意見も取り入れていく必要がある。
- ・SNSのトラブル等、注意喚起を確実にし、家庭とも協力し、ルールやマナーを守れる生徒の育成に力を入れる必要がある。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想等

- ・コロナ禍において、行事、授業や集会等をリモートで実施をしたが、時代の流れで良い学びの機会であったと思う。
- ・生徒たちは、学校生活を楽しく充実しているのは、生徒アンケートでよくわかる。先生方は、もっと自信をもって自分たちの指導を誇りにし、自慢してほしい。
- ・正門に上平中生の栄光の記録（部活動等の成果）を地域に発信している。それを見て、地域の方々は話題にし、上平中の宣伝アピールとなっている。上平中が魅力ある教育活動を展開しているのがよく伝わってくる。
- ・コロナ禍の中、行事等を工夫して実施しながら、生徒たちは生き抜く力を身に付けることができている。
- ・「上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している。」「生徒達は、仲間と協力して活動することができる。」の項目は、教員、保護者、生徒の結果は肯定的に捉えている。この結果より、学校教育目標の実現がなさせている学校である。
- ・先生方は生徒が安全に教育活動を行えるよう、施設・設備の安全点検を丁寧に実施している。

(2) 評価

- ・本校の学校評価は妥当である。